

ろうさい ニュース

平成31年

3月号

第415号

■浜松EAST医療連携セミナーの報告について

総合内科 副部長 東辻 宏明

平成31年1月31日に、浜松 EAST 医療連携セミナーを北里大学東洋医学総合研究所副所長 及川哲郎先生をお招きして開催いたしました。

演題は「消化器領域の漢方治療—基本処方解説—」でした。漢方医学の特徴、良い適応、あまりないと思われる副作用の話から始まり、先生の元来の専門領域である消化器疾患における漢方治療の話へと移っていきました。

- (1) 慢性肝障害の漢方治療—柴胡桂枝湯—。
- (2) 機能性ディスぺプシア—六君子湯—、グレリンを介する作用をもつこと。
- (3) 胃食道逆流症のひとつ NERD に対する PPI と六君子湯の併用の有効性。
- (4) 過敏性腸症候群—桂枝加芍薬湯—。
- (5) 癒着性イレウス（腸閉塞）—大建中湯—、セロトニンレセプター、TRP channel（サーモセンサー）、モチリン分泌、を介した作用機序、大建中湯の抗炎症作用。
- (6) 便秘（常習性）—黄耆建中湯—。
- (7) 下痢（特に抗がん剤による難治性下痢）—真武湯—。
- (8) 腹痛—芍薬甘草湯（即効性、ブスコパンの如し）—。
- (9) 炎症性腸疾患—柴胡桂枝湯—。
- (10) 補剤（疲れやすい、胃腸が弱い、体が冷えるなど、これらに対する西洋医学的治療は少ない、＝足りないものを補う漢方薬）—補中益気湯、十全大補湯—。
- (11) 癌治療における漢方の有用性—人参養栄湯—。

以上について、及川先生の真面目で優しい性格でもって、非常にわかりやすく解説していただきました。

当日は52名の方々に参加していただき、盛会裏に終了いたしました。今後も浜松 EAST 医療連携セミナーを定期的で開催してまいりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

■浜松EAST看護介護連携会の報告について

退院支援看護師 天野静香

平成31年2月8日、第21回浜松EAST看護介護連携会を開催いたしました。「災害時のトリアージと当院の役割について」のテーマをもとに、災害時における労災病院の役割と、在宅医療を受けている方の日頃の備えなどを講義した後、トリアージの演習を行いました。実物のトリアージタグを各グループに配布したところ、初めて見たという方が多く、ほとんどの方がトリアージ未経験者でした。

トリアージ方法の説明後、10症例を10分で解いていただき、解説をしながら答え合わせを行い、皆それぞれ手応えがあった様子で、「すぐに実践できるような気持ちになった」「わかりやすかった」などの意見がきかれました。アンケートの結果、勉強会の内容に対して96%の満足度を得ることができました。

机上演習後、グループワークを行いました。昨年の大規模停電を経験し、「停電時には事業所や病院の瓦が繋がらない」「電源が復旧しないことで在宅での人工呼吸器の利用者が困った」「発電機を事業所で準備していたのに燃料が用意されて

いなかった」など災害時の困難事例が話題にあがりました。事業所が地震などで倒壊して入れない時のために、緊急用にまとめてあるリストを事務所とは別に準備しているところもありました。ケアマネジャーとして利用者の所在把握をどうするか等、対応を考えている方も多くみえました。しかし、震災経験者から「まずは自分の身は自分で守る。

その後まわりを支援していく。」と聞き、職業人の前に一人の人間として、災害に備えた必要物品を備蓄し、自身を守ることが大事である。そして周辺の状況を確認し、ケアしていくことが大事だと共有しました。

今後も参加者のニーズ、時節に見合う内容の連携会を開催できるように努めてまいります。



独立行政法人労働者健康安全機構

電話 053-411-0366

受付時間

浜松労災病院 地域医療連携室

fax 053-411-0315

月～金 8:15～18:00 土 8:15～12:00